ボランティア活動で良好な道路空間確保

名古屋国道事務所と大成ロテックが協定

中部地方整備局名古屋国道事務所と大成ロテック中部支社は11日、「ボランティア・サポート・プログラム」の協定を結んだ。同事務所が所管する国道41号の愛知県小牧市内（下小針中島2）で同社が清掃などのボランティア活動を行い、良好な道路空間を確保する。



同日、名古屋市の同事務所で協定締結式を開いた＝写真。神田忠士事務所長は「作業中のけがや熱中症に注意して、末永く協力してほしい」と求めた。山本達也支社長は「道路施工や工場の脱炭素化に取り組む中で、周辺の環境美化への貢献も必要と感じた。地域の皆さんに喜ばれる活動を目指す」と応えた。

※無断転載・複写不可